

第169回 伊丹市内企業の景気動向調査

<調査対象> 伊丹市内の主要企業 150 社
 <調査方法> 郵送によるアンケート調査方式
 <比較方法> 景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較
 <有効回答数> 150 社中 45 社（一般 15、食料品工業 5、商業 7、建設業 6、運輸業 6、サービス業 6） 回答率 30%

調査結果

【伊丹市内企業の経営動向について】

産業別DI（景気動向指数）とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向（増加・好転など）の回答割合からマイナス傾向（減少・悪化など）の回答割合を差し引いたもの。

景況天気図	晴れ(好調)	曇り	雨(不振)
DI 値	+30	+10	▲10
			▲30

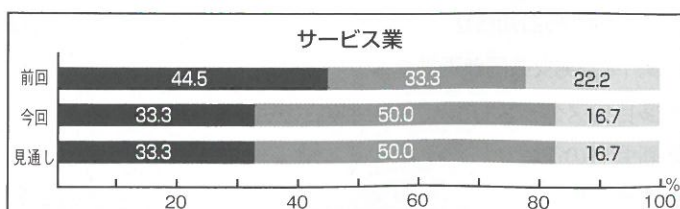
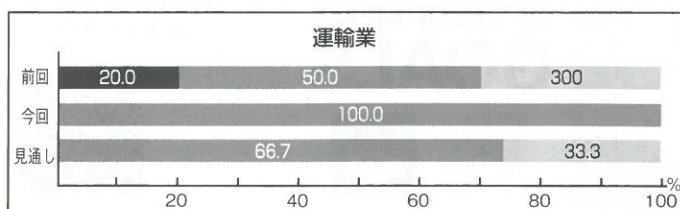
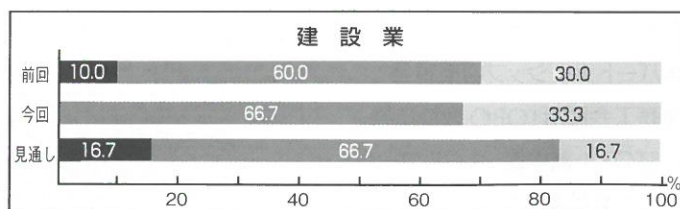
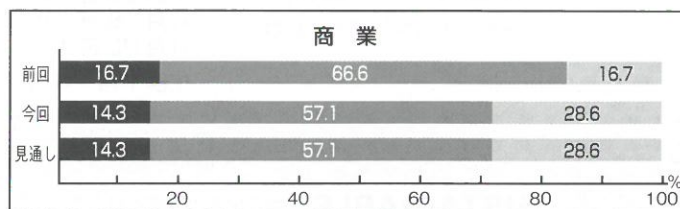
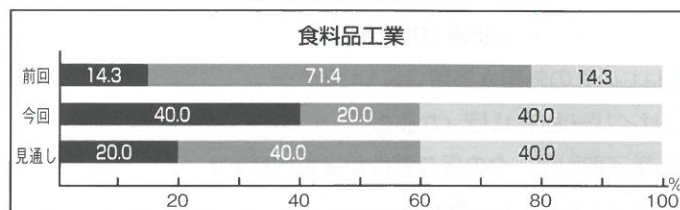
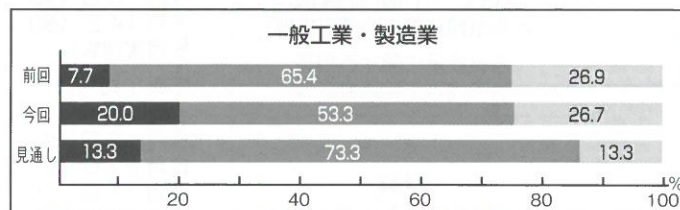
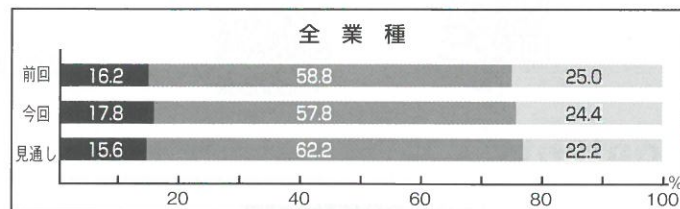
DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

業 況	売 上	採 算	仕 単 価	従 業 員
全 業 種	▲15.6	▲22.2	▲91.1	不足 28.9
一 般 工 業	▲13.3	▲20.0	▲100.0	不足 26.7
食 料 品 工 業	0.0	▲20.0	▲100.0	かなり不足 40.0
商 業	▲14.3	▲28.6	▲85.7	不足 14.3
建 設 業	▲33.3	▲16.7	▲100.0	かなり不足 33.3
運 輸 業	▲50.0	▲16.7	▲83.3	かなり不足 50.0
サ ー ビ ス 業	16.7	▲33.3	▲66.7	不足 16.7

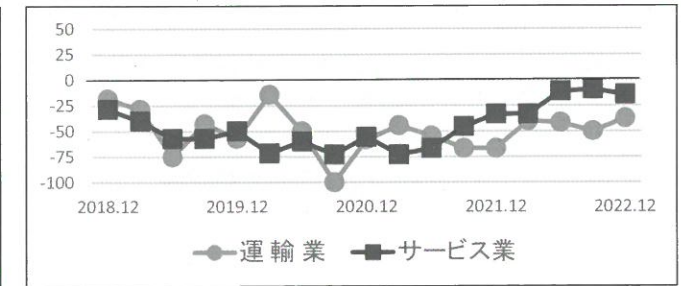
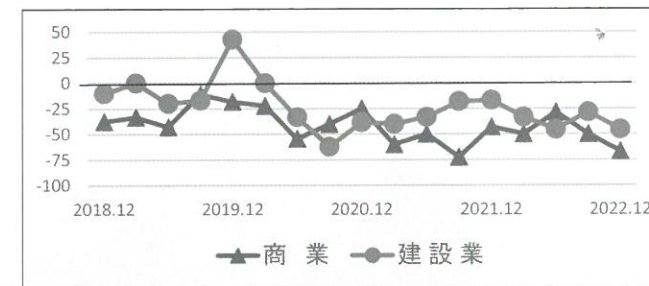
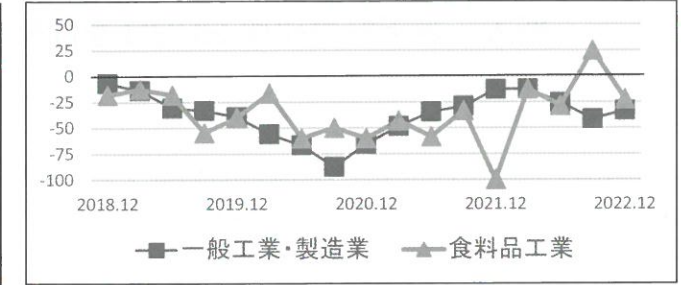
【伊丹市内企業の景気動向について】

今回の調査結果（回答 45 社）によると、令和 5 年 1～3 月期の景気実績は「上昇」回答 17.8%（前回 16.2%）、「下降」回答 24.4%（前回 25%）、景気見通しは、「上昇」回答 15.6%、「下降」回答 22.2%となった。

グラフの表示 ■ 上昇 ■ 横ばい ■ 下降



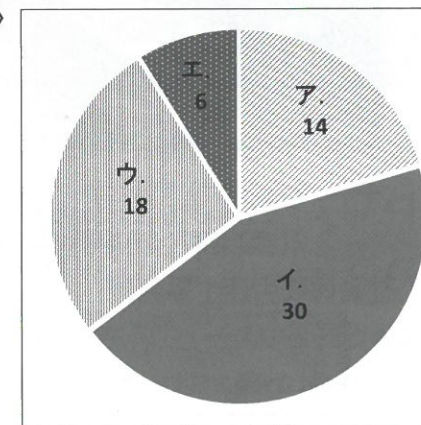
★業況 DI の4ヶ年推移



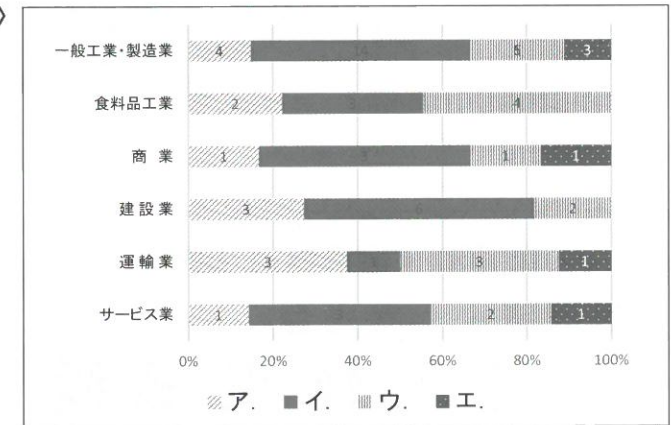
4-1. 今年度（2023年4月以降）において、賃上げを行いましたか？

回答： ア. 賃上げを実施した（年収換算ベースの賃上げ率3%以上）
 イ. 賃上げを実施した（年収換算ベースの賃上げ率3%未満）
 ウ. 現段階では行っていないが、今年度中（あるいは次年度）賃上げを行う予定
 エ. 賃上げを実施していない（以後も予定なし）

【全体】



【業種別】



4-2. （上記設問で1または2と回答した方のみ）実施した賃上げの内容は何ですか（複数回答可）

	合 計	一般工業・製造業	食料品工業	商 業	建設業	運輸業	サービス業
定期昇給	29	13	3	3	6	1	3
ベースアップ	16	5	3	2	3	2	1
賞与の増額	6	5	0	1	0	0	0
新卒者の初任給の増額	3	3	0	0	0	0	0
再雇用者の賃金の増額	2	0	1	1	0	0	0
その他	5	4	0	0	0	1	0

（その他の内訳： 物価手当、役職者への手当見直し、時給の引き上げ、最低賃金に合わせたもの、今年度の内容は不明）

ご意見など

- ・ 競合他社の統廃合があり、受注増加傾向にある。しかしながら、材料費高騰の影響で採算が合わないことも多い。（製造業）
- ・ 正社員の時給を上げ、賞与も増額予定。（商業）
- ・ 先行き不透明な状況が続いている。（建設業）